

2010年8月16日

企業会計基準委員会と米国財務会計基準審議会の代表者が グローバル・コンバージェンスを議論する会合を開催

企業会計基準委員会
米国財務会計基準審議会

企業会計基準委員会(ASBJ)と米国財務会計基準審議会(FASB)の代表者は、2010年8月12日と8月13日に、東京で会合を開催いたしました。この会合は、ASBJの西川委員長、FASBのハーズ議長主導の下、会計基準のグローバル・コンバージェンスを目指した相互の対話を促進するためにASBJとFASBが定期的に行っているもので、第9回目となりました。

FASB は国際会計基準審議会 (IASB) とともに、1組の高品質でグローバルな会計基準の開発を目指しています。その目標の達成のため、2010年6月に、両審議会は、「コンバージェンス作業に関するIASBとFASBの共同声明」を公表し、米国会計基準と国際財務報告基準(IFRS)の改善と共通化のための作業計画の修正を発表しました。ASBJは、日本基準とIFRSとのコンバージェンス・プロジェクトを、FASBとIASBが共同で行っているプロジェクトの進捗状況を踏まえて進めており、FASBとIASBの高品質な1組のグローバルな会計基準を目指す取組みを支持しています。

以上のような最近における状況を踏まえ、本会議においては、両者は、お互いのコンバージェンス・プロジェクトの最新状況を確認し、以下の個別プロジェクトについての意見交換を行いました。

- 金融商品 (FASB が 2010 年 5 月に公表した公開草案について)
- 収益認識 (FASB と IASB が 2010 年 6 月に公表した公開草案について)
- リース (FASB と IASB により近く公表される公開草案における会計モデルについて)

両者は、このような継続的な議論により相互理解を深めることは、ASBJ 及び FASB におけるこれからの審議や、改善を図るべき重要な項目に関して IASB とともに進めている今後の高品質な会計基準の開発に寄与するものと考えています。両者は、引き続き、直面する課題や現在の懸案事項について意見交換していくことといたしました。

西川郁生 ASBJ 委員長は次のように述べています。

「1組の高品質のグローバルな会計基準への市場関係者の期待の高まりを受け、IASB との間で FASB が継続的に行っているコンバージェンス作業に敬意を表する。また、金融商品の会計処理に関する規定を共通化するように、IASB との差異を調整するための FASB のこれからの努力を支持したい。日本の市場関係者の中で、FASB と IASB の MoU プロジェクトの動向について一段と関心が高まっている中、この会議では、金融商品、収益認識及びリースに関するプロジェクトの最近の進展について、FASB の代表者との間で意見交換することができた。ASBJ は、FASB や IASB、その他の主要な会計基準設定主体とともに、高品質のグローバルな会計基準の開発への取り組みに対して、引き続き積極的に協力していきたいと考えている」

ロバート・ハーズ FASB 議長は次のように述べ、この考えに賛同しています。

「IASB との間多くの主要なプロジェクトに関して極めて重要な局面にあり、今回の ASBJ の代表者との会議は、とりわけ時宜にかなった価値のあるものであった。ASBJ から受け取るインプットは深く検討されており、我々と IASB との審議にとって非常に重要である。」

なお、次回の会合は 2011 年前半にノーウォーク（米国）で開催する予定です。

企業会計基準委員会(ASBJ)について

ASBJ は、2001 年 7 月に民間部門の機関として設立された。ASBJ が開発した会計基準は、金融庁により一般に公正妥当と認められた企業会計の基準として認められることとなる。ASBJ は、企業が活動している環境を適切に反映した会計基準及び適用指針を開発している。ASBJ は、海外の会計基準設定主体とコミュニケーションを取り、グローバルな会計基準の開発に貢献している。ASBJ に関する詳細な情報は、ホームページ <http://www.asb.or.jp/> をご参照いただきたい。

米国財務会計基準審議会 (FASB) について

FASB は、1973 年以来米国における財務会計及び財務報告基準を設定するための民間部門の機関として指定されている。それらの基準は、財務報告書の作成を規定し、証券取引委員会及び米国公認会計士協会により権威のあるものとして正式に認識されている。投資家、債権者、監査人及びその他の人々は、信頼性、透明性、比較可能性のある財務情報を必要とするため、このような基準は、経済の効率的機能にとって不可欠である。FASB に関する詳細な情報は、ホームページ <http://www.fasb.org/> をご参照いただきたい。